

2023年2月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年10月7日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社 安川電機

コード番号 6506 URL <https://www.yaskawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小笠原 浩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報・IR部長 (氏名) 林田 歩 TEL 093-588-3076

四半期報告書提出予定日 2022年10月11日 配当支払開始予定日 2022年11月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年2月期第2四半期の連結業績（2022年3月1日～2022年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年2月期第2四半期	263,528	9.8	31,260	16.4	33,467	20.2	23,889	12.0
2022年2月期第2四半期	239,907	28.4	26,867	102.1	27,836	112.3	21,323	121.0

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭		円 銭	
2023年2月期第2四半期	23,707	12.0	43,209	58.4	90.69		90.61	
2022年2月期第2四半期	21,164	122.5	27,280	223.0	80.96		80.93	

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2023年2月期第2四半期	639,186		334,333		327,032		51.2	
2022年2月期	559,038		298,100		291,234		52.1	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭		円 銭		円 銭
2022年2月期	—		26.00		26.00
2023年2月期	—		32.00		—
2023年2月期（予想）	—		—		32.00
	—		—		64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年2月期の連結業績予想（2022年3月1日～2023年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	550,000	14.8	70,000	32.4	72,000	30.0	51,500	34.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

決算に関する詳細情報として、当社ウェブサイト (<https://www.yaskawa.co.jp>) に本日公表の決算補足説明資料を掲載しております。併せてご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年2月期2Q	266,690,497株	2022年2月期	266,690,497株
② 期末自己株式数	2023年2月期2Q	5,245,232株	2022年2月期	5,277,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年2月期2Q	261,426,652株	2022年2月期2Q	261,404,703株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2022年10月11日（火）に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①2023年2月期第2四半期(2022年3月1日～2022年8月31日)の経営成績

当第2四半期における当社グループの経営環境は、製造業全般における生産の高度化・自動化を目的とした設備投資が継続的に行われました。グローバルにEV化やリチウムイオン電池関連などの需要拡大が継続したことに加え、米国を中心に半導体・電子部品市場において設備投資が積極的に行われました。なお、中国においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うロックダウンからの正常化に向けた動きがみられたものの、設備投資の本格的な回復には至らない状況でした。

このような環境において当社グループの業績は、半導体など長期化する部品の供給不足によって生産制約の影響を受けましたが、代替部品の活用や設計の変更、市中品の購入などによって期の後半から生産を挽回し、売上収益は前年同期比で増加しました。利益面については原材料費や物流費の大幅な高騰影響を受けましたが、価格転嫁を進めたことに加え、為替の円安影響や退職年金制度の変更によるその他の収益などもあり、増益となりました。これらの結果、売上収益・営業利益は上期としては過去最高を更新しました。

なお、当第2四半期における当社グループの地域別の経営環境は以下のとおりです。

- 日 本： 半導体・電子部品市場をはじめ自動車市場などの需要が高水準で推移しました。
- 米 国： 自動車・半導体関連の需要が力強く伸長し、労働力不足・人件費高騰を背景とした自動化投資が継続しました。また、オイル・ガス関連需要も高い水準が継続するなど、総じて拡大基調となりました。
- 欧 州： 自動化投資が継続して行われるなど、自動車や木工機械などを中心に需要は堅調に推移しました。
- 中 国： EV化の加速を背景に自動車関連やニューインフラ関連の需要は堅調に推移した一方、コロナ禍によるロックダウンの影響を大きく受け、一般産業などで設備投資が減少するなど、需要は伸び悩みました。
- 中国除くアジア：韓国を中心に自動車関連や半導体関連の需要が高水準で推移し、リチウムイオン電池関連の設備投資も伸長しました。

この結果、当第2四半期の経営成績は以下のとおりです。

	2022年2月期 第2四半期連結累計期間	2023年2月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
売 上 収 益	2,399億7百万円	2,635億28百万円	+9.8%
営 業 利 益	268億67百万円	312億60百万円	+16.4%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	211億64百万円	237億7百万円	+12.0%
米 ド ル 平 均 レ ー ト	109.54円	129.86円	+20.32円
ユ ー ロ 平 均 レ ー ト	130.78円	136.84円	+6.06円
中 国 人 民 元 平 均 レ ー ト	16.92円	19.59円	+2.67円
韓 国 ウ ォ ン 平 均 レ ー ト	0.097円	0.102円	+0.005円

②セグメント別の状況

当社グループでは、事業内容を4つのセグメントに分けています。

当第2四半期の各セグメントの経営成績は以下のとおりです。

モーションコントロール	売上収益	1,213億12百万円	（前年同期比 +4.1%）
	営業損益	157億99百万円	（前年同期比 △19.7%）
<p>モーションコントロールセグメントは、ACサーボモータ・コントローラ事業とインバータ事業で構成されています。</p> <p>中国にてロックダウンの影響を受けましたが、米国を中心に半導体関連やオイル・ガス関連などの積極的な設備投資が継続したことから、売上収益は前年同期比で増加しました。利益面においては、中国での売上減少に伴う利益の減少や、グローバルでの原材料費や物流費の高騰影響により減益となりました。</p> <p>〔ACサーボモータ・コントローラ事業〕</p> <p>米国・日本などで半導体・電子部品需要が高い水準で継続しました。中国においてはEV化やリチウムイオン電池関連ならびに太陽光発電用パネルなどの成長市場にて需要が堅調に推移したものの、一般産業において設備投資は低迷しました。これらの結果、事業全体の売上収益は増加しました。</p> <p>〔インバータ事業〕</p> <p>米国においてはオイル・ガス関連の設備投資が増加し、販売は好調に推移しました。中国ではリチウムイオン電池関連などの需要や、生産設備の自動化・省エネ化に伴う需要が伸長した一方、ロックダウンの影響を受け売上は減少しました。これらの結果、事業全体の売上収益は増加しました。</p>			
ロボット	売上収益	1,035億71百万円	（前年同期比 +19.9%）
	営業損益	108億92百万円	（前年同期比 +56.6%）
<p>ロボットセグメントの主要市場である自動車においては、グローバルでEV化が加速し、リチウムイオン電池関連の生産設備の投資を拡大する動きが継続しました。また、半導体・電子部品市場の需要拡大を背景に、半導体ロボットの販売も好調に推移しました。さらに、食品市場などの一般産業分野においても、人協働ロボット等の活用を通じた生産の高度化・自動化を目的とした投資が行われました。</p> <p>これらの状況を受け、売上収益・営業利益はともに前年同期比で大幅に増加しました。</p>			
システムエンジニアリング	売上収益	246億7百万円	（前年同期比 △9.3%）
	営業損益	9億60百万円	（前年同期比 △21.1%）
<p>国内の上下水道用電気システム関連やアジアなどでの港湾クレーン関連の売上が伸び悩み、売上収益は前年同期比で減少しました。利益面では経費抑制を徹底したものの、売上の減少に伴い減益となりました。</p>			
その他	売上収益	140億37百万円	（前年同期比 +42.1%）
	営業損益	3億57百万円	（前年同期比 3億36百万円増加）
<p>その他セグメントは、物流サービス事業などで構成されています。</p> <p>売上収益は国内の物流サービス事業を中心に前年同期比で増加し、営業利益は同事業の売上拡大に伴う採算性の改善により増加しました。</p>			

(2) 財政状態に関する説明

①資産 6,391億86百万円（前連結会計年度末比 801億47百万円増加）

たな卸資産や営業債権等の増加により、流動資産が前連結会計年度末に比べ633億76百万円増加しました。また、有形固定資産やその他の非流動資産等の増加により、非流動資産が前連結会計年度末に比べ167億70百万円増加しました。

②負債 3,048億52百万円（前連結会計年度末比 439億15百万円増加）

短期借入金や営業債務等の増加により、流動負債が前連結会計年度末に比べ498億80百万円増加しました。一方、長期借入金の減少により、非流動負債が前連結会計年度末に比べ59億64百万円減少しました。

③資本 3,343億33百万円（前連結会計年度末比 362億32百万円増加）

利益剰余金やその他の資本の構成要素等が増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

グローバルな自動車・半導体・電子部品市場の拡大や、中国におけるニューインフラ投資による需要が高い水準で推移しております。ロボットセグメントを中心に好調な受注が継続していることから、生産・調達の強化を図ることで、売上収益の拡大に努めてまいります。

一方、利益面については売上増加による改善はあるものの、原材料費や物流費の高騰影響が期初の想定より大きくなっていることから、2022年4月8日に公表しました2023年2月期通期連結業績予想を修正いたします。

なお、2022年9月1日から2023年2月28日までの期間における平均為替レートは、第1四半期決算発表時点の計画から見直し、1ドル=120.0円から140.0円、1ユーロ=133.0円から140.0円、1元=19.00円から20.00円といたします（韓国ウォンは据え置き1ウォン=0.100円）。

また、年間配当予想につきましては変更しておりません。

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益
前回予想（A） （2022年4月8日公表）	百万円 525,000	百万円 72,000	百万円 74,000	百万円 52,500
今回修正予想（B）	550,000	70,000	72,000	51,500
増減額（B－A）	25,000	△2,000	△2,000	△1,000
増減率（％）	4.8	△2.8	△2.7	△1.9
前期実績 （2022年2月期）	479,082	52,860	55,378	38,354

本資料に記載されている連結業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	55,151	61,588
営業債権	149,646	168,852
たな卸資産	131,767	167,809
その他の金融資産	2,078	2,643
その他の流動資産	23,718	24,844
流動資産合計	362,362	425,739
非流動資産		
有形固定資産	93,598	97,386
のれん	7,341	7,535
無形資産	18,068	18,482
使用権資産	12,431	14,947
持分法で会計処理されている投資	8,039	8,979
その他の金融資産	36,600	39,050
繰延税金資産	12,510	14,472
その他の非流動資産	8,085	12,591
非流動資産合計	196,675	213,446
資産合計	559,038	639,186

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	76,922	92,738
借入金	20,497	49,884
未払法人所得税	5,866	5,275
リース負債	2,497	2,899
その他の金融負債	4,338	5,311
引当金	1,939	2,227
その他の流動負債	63,215	66,821
流動負債合計	175,278	225,158
非流動負債		
社債及び借入金	36,376	26,451
リース負債	8,674	10,707
その他の金融負債	296	307
退職給付に係る負債	30,050	30,555
繰延税金負債	2,338	2,750
引当金	3,979	4,200
その他の非流動負債	3,943	4,721
非流動負債合計	85,659	79,694
負債合計	260,937	304,852
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	30,562	30,562
資本剰余金	28,312	28,304
利益剰余金	232,547	249,833
自己株式	△21,971	△21,851
その他の資本の構成要素	21,783	40,183
親会社の所有者に帰属する持分合計	291,234	327,032
非支配持分	6,866	7,300
資本合計	298,100	334,333
負債及び資本合計	559,038	639,186

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月 1日 至 2021年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日)
売上収益	239,907	263,528
売上原価	△156,031	△174,073
売上総利益	83,876	89,454
販売費及び一般管理費	△56,632	△63,297
その他の収益	414	5,218
その他の費用	△791	△114
営業利益	26,867	31,260
金融収益	537	1,387
金融費用	△438	△836
持分法による投資損益	869	1,655
税引前四半期利益	27,836	33,467
法人所得税費用	△6,512	△9,578
四半期利益	21,323	23,889
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	21,164	23,707
非支配持分	158	181
合計	21,323	23,889
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	80.96	90.69
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	80.93	90.61

（要約四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年3月 1日 至 2021年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日）
四半期利益	21,323	23,889
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融 資産の純変動額	691	1,546
確定給付制度の再測定額	806	340
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持 分	5	16
合計	1,503	1,903
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	4,457	17,488
キャッシュ・フロー・ヘッジに係る公正価値の純変動 額	△3	△72
合計	4,454	17,416
その他の包括利益合計	5,957	19,320
四半期包括利益合計	27,280	43,209
四半期包括利益合計の帰属		
親会社の所有者	27,034	42,483
非支配持分	246	725
合計	27,280	43,209

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年8月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2021年3月1日残高	30,562	28,042	204,150	△22,023	5,535	246,266	3,294	249,561
四半期利益	—	—	21,164	—	—	21,164	158	21,323
その他の包括利益	—	—	—	—	5,869	5,869	87	5,957
四半期包括利益合計	—	—	21,164	—	5,869	27,034	246	27,280
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	3	—	55	—	58	—	58
剰余金の配当	—	—	△3,137	—	—	△3,137	△183	△3,320
株式報酬取引	—	△54	—	—	—	△54	—	△54
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	760	—	△760	—	—	—
その他	—	21	—	—	—	21	—	21
所有者との取引額等合計	—	△29	△2,376	52	△760	△3,113	△183	△3,297
2021年8月31日残高	30,562	28,012	222,938	△21,970	10,644	270,187	3,357	273,545

当第2四半期連結累計期間（自 2022年3月1日 至 2022年8月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
2022年3月1日残高	30,562	28,312	232,547	△21,971	21,783	291,234	6,866	298,100
四半期利益	—	—	23,707	—	—	23,707	181	23,889
その他の包括利益	—	—	—	—	18,775	18,775	544	19,320
四半期包括利益合計	—	—	23,707	—	18,775	42,483	725	43,209
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	5	—	121	—	126	—	126
剰余金の配当	—	—	△6,797	—	—	△6,797	△292	△7,089
株式報酬取引	—	△13	—	—	—	△13	—	△13
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	376	—	△376	—	—	—
その他	—	0	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	△7	△6,421	119	△376	△6,685	△292	△6,977
2022年8月31日残高	30,562	28,304	249,833	△21,851	40,183	327,032	7,300	334,333

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。